

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	現代英語
科目基礎情報					
科目番号	0109		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	生産システム工学専攻		対象学年	専1	
開設期	後期		週時間数	後期:2	
教科書/教材	『BEST PRACTICE FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST』(成美堂) 『理工系学生のための必修英単語2600』(成美堂)				
担当教員	橋爪 仙彦				
到達目標					
1.国際的に通用する海事技術者として高度な能力を身につける。 2.国籍、文化、風習の相違を認め合いながら、正しいリーダーシップを取ることができる人間としての資質を身につける。 3.状況を正しく認識し、問題を明確化し、それを解決できる問題解決能力を身につける。 4.環境問題に海事技術者の立場で適切に対応できる見識を身につける。 5.グローバルな視点のもとで、現実に生活している地域社会の諸問題の解決に参画できる社会人としての資質を身につける。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	文のイントネーションや区切りを理解し、音読できる。		発音記号などを参考にしながら音変化を理解できる。		英語の音を聴いて正しく理解できず、発音できない。
評価項目2	高等学校レベルの語彙・文法力を応用することができる。		高等学校レベルの標準的な語彙・文法力を身につけている。		中学既習の語彙・文法力を身につけていない
評価項目3	200語程度の英文で自分の意見を言うことができる。		120語程度の英文で自分の意見を言うことができる。		英語で自分の意見を言うことができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育目標 C1 教育目標 C3					
教育方法等					
概要	1. 国際的に通用する海事技術者として高度な能力を身につけるために、様々な国籍、文化、風習の相違を認め合うことができるコミュニケーション能力を育成する。 2. グローバルな視点のもとで、現実に生活している地域社会の諸問題の解決に自主的に参画できるコミュニケーション能力を育成する。				
授業の進め方・方法	授業開始時に毎回英単語の小テストを行う。 授業では、TOEIC TESTへの対策問題の演習を中心とし、解説を加えながら、授業を展開する。 授業中に指名し、予習の程度や解説の理解の度合いを確認する。				
注意点	「ポートフォリオ」には、小テストの点数や提出物などが含まれる。 「発表」には、授業中の発言などを数値化したものが含まれる。 「態度」には、出欠や授業に対する姿勢を数値化したものが含まれる。 小テストの準備も含めて、教科書の予習・復習を行うこと。 学期中に1～2回TOEICを受験することが望ましい。 また、実用英検、工業英検についても受験することを推奨する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	イントロダクション Unit 8	前期に継続して使用する教科書、教材の確認を行う。 Unit 8の内容について確認を行う。 リスニング活動、会話問題、説明文問題に取り組む。	
		2週	Unit 8	Unit 8の穴埋め問題、長文問題、読解問題に取り組む。	
		3週	Unit 9	Unit 9の内容について確認を行う。 リスニング活動、会話問題、説明文問題に取り組む。	
		4週	Unit 9	Unit 9穴埋め問題、長文問題、読解問題に取り組む。	
		5週	Unit 10	Unit 10の内容について確認を行う。 リスニング活動、会話問題、説明文問題に取り組む。	
		6週	Unit 10	Unit 10の穴埋め問題、長文問題、読解問題に取り組む。	
		7週	Unit 11	Unit 11の内容について確認を行う。 リスニング活動、会話問題、説明文問題に取り組む。	
		8週	Unit 11	Unit 11の穴埋め問題、長文問題、読解問題に取り組む。	
	4thQ	9週	Unit 12	Unit 12の内容について確認を行う。 リスニング活動、会話問題、説明文問題に取り組む。	
		10週	Unit 12	Unit 12の穴埋め問題、長文問題、読解問題に取り組む。	
		11週	Unit 13	Unit 13の内容について確認を行う。 リスニング活動、会話問題、説明文問題に取り組む。	
		12週	Unit 13	Unit 13の穴埋め問題、長文問題、読解問題に取り組む。	
		13週	Unit 14	Unit 14の内容について確認を行う。 リスニング活動、会話問題、説明文問題に取り組む。	
		14週	Unit 14	Unit 14の穴埋め問題、長文問題、読解問題に取り組む。	
		15週	定期テスト	これまで学習した範囲のテストを行う。	
		16週	解答・解説	定期テストの解答・解説を行う。	
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	4	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	4	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	4	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	4	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	4	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	4	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	4	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	4	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	4	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	4	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	4	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	4	
自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	4					

評価割合

	試験	ポートフォリオ	発表	態度			合計
総合評価割合	60	20	10	10	0	0	100
基礎的能力	60	20	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0